

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 明用課題名 (括弧内は申請課題名)	こどもの重症な肝臓病に対するさい帯血を用いた新しい治療法を 開発するための研究 (肝疾患に対する臍帯血由来細胞を用いた肝再生療法に関する基礎研究)
研究期間	2017年4月1日から 2021年7月31日まで
研究機関名	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科)
研究責任者職氏名	教授 大賀 正一

研究の説明

1 さい帯血・情報の利用目的及び利用方法 (他機関へ提供される場合はその方法含む。)

難治性肝疾患に対する肝移植に替わる治療として、肝再生を目指した細胞療法があります。近年、骨髄やさい帯血、乳歯などから得られる間葉系幹細胞が、機能的肝細胞へ分化しうることが明らかになり、これらを用いた細胞療法が注目されています。しかし、骨髄由来間葉系幹細胞の採取には体に痛みを伴い、ヒト乳歯幹細胞は移植細胞の生着率が低いため治療効果を維持する期間が短いという問題点があります。さい帯血由来間葉系幹細胞は、他の間葉系幹細胞と比較して免疫反応を起こしにくい点や採取の際に痛みを伴わないなどの利点から、肝再生などの細胞療法に適していると考えられていますが、ヒトの疾患を再現させた動物 (疾患モデル動物) などでの有用性を検討した報告は余りありません。そこでわれわれは、さい帯血由来、骨髄由来、乳歯由来の肝細胞について肝疾患モデル動物での治療有効性を検討することとしました。

さい帯血はさい帯血バンクからおよび九州大学病院産科で採取します。骨髄及び乳歯は、九州大学病院小児科採取します。さい帯血は、分娩後の胎盤に付着したさい帯よりさい帯血を採取し、骨髄は各種疾患診断目的の骨髄検査に際し 5ml の骨髄液を追加で採取し、また乳歯は自然にもしくは処置に際し脱落したものを使用します。さい帯血、骨髄液、乳歯から間葉系幹細胞を分離し、肝細胞への分化誘導及び疾患モデルマウスへ投与します。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

試料として、調製保存に至らない臍帯血、あわせてその臍帯血の採取日時の情報を利用します。

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

該当なし。

4 さい帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、さい帯血提供者が識別されるさい帯血・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について

さい帯血バンクから個人を識別できないように匿名化し提供されるため、提供後は利用を停止することができません。しかし、さい帯血バンクから提供される前は、研究利用への停止は可能です。

5 4のさい帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法

日本赤十字社九州さい帯血バンクが利用の停止を受け付ける窓口となります。
電話：092-921-1435

本研究に関する問い合わせ先

所属	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野（小児科）
担当者	大賀 正一
住所	福岡県福岡市東区馬出 3-1-1 臨床研究棟 A 棟 2F 小児科医局
電話	092-642-5421
E-mail	ohgas@pediatr.med.kyushu-u.ac.jp